

第7回 2.5次元文化を考える公開シンポジウム

片岡義朗氏に聞く  
1980～90年代の“アニメ・ミュージカル”  
の誕生とその発展

2025年7月26日(土)

14:00～17:00(開場13:30予定)

横浜国立大学都市科学部棟 103



講師：片岡義朗氏

(株) コントラ代表取締役



聞き手：亀山泰夫氏

PPP (ポップパワープロジェクト) 事務局 ディレクター

司会・モデレーター：須川亜紀子  
横浜国立大学都市イノベーション研究院

主催：科研費 (基盤C) 22K01876, 横浜国立大学  
共催：日本アニメーション学会



←参加無料・事前登録制

科研費  
KAKENHI

JSAS

YNU

## 【プロフィール】 片岡義朗氏

ADK 局長、(株)マーベラス取締役、(株)ドワンゴ執行役員、ビリビリ動画顧問等を経て、現在(株)コントラ代表取締役。プロデューサーとして、アニラジというジャンルが無かった時代の1979年に「アニメトピア」(OBC-QR)をアニメファン向けに企画制作し、その後も「アニメ NOW」(QR)、「VAPOUT」(RF)等を製作し声優&アニメとラジオのマッチが良いことを証明し、アニラジを一つの分野として確立させた。おもな企画アニメに、「タッチ」「キテレッツ大百科」「こち亀」「るろうに剣心」「HUNTER×HUNTER」「遊戯王デュエルモンスターズ」「シュガシュガルーン」「ガンズリンガーガール」「ジパング」「家庭教師ヒットマン REBORN!」「蟲師」「臨死!!江古田ちゃん」等多数。

また、いわゆる2.5次元舞台を、まだそれが存在しなかった時代の1991年に、ミュージカル『聖闘士星矢』(青山劇場)をプロデュースし、その後も漫画アニメを原作とする舞台製作を続け、2003年のミュージカル「テニスの王子様」(池袋芸術劇場中ホール)の社会的な大ヒットにより、それ以降の今に続く漫画アニメ原作舞台化の大量製作の流れを招来し、この分野をエンターテインメントの一つジャンルとして確立させた。主な舞台作品にいずれもミュージカル「テニスの王子様」「HUNTER×HUNTER」「聖闘士星矢」「こちら葛飾区亀有前派出所」「姫ちゃんのリボン」「美少女戦士セーラームーン」「監獄学園」「堀江貴文クリスマスキャロル」、そして音楽劇「千本桜」、舞台「あの日見た花の名前を僕達はまだ知らない。」等多数。

アニメビジネス面では、アニメ関連のアニメマックスTV/アニプレックス(旧SPEビジュアルワークス)/コミックス・ウエーブ・フィルム(旧マンガズー・ドット・コム)などの起業を企画し成立させた。(株)ドワンゴではニコニコ動画を従来のユーザーによる動画UPの違法サイトとの見方を、アニメ著作権者からの有料購入による正規配信を推進し、アニメのネット配信の定着を図り、TV局の放送とほぼ同時配信の流れを促進させた。同様にビリビリ動画の顧問として中国での違法サイトの評判を覆すべく、日本の有力制作スタジオ、漫画出版社と協議し、中国での日本製アニメの配信権の有料購入を進め、いまや違法動画を駆逐した。

## 【プロフィール】 亀山泰夫氏

博士(学術)、日本アニメーション学会会員。iU 超特任教授、事業創造大学院大学 非常勤講師。

1986年より2012年まで、ADK、ウィーヴにて、アニメを中心とした映像コンテンツ及び周辺事業のプロデュースを行う。主な担当作品は、TVアニメ:「ドラえもん」、「ビックリマン」シリーズ、「愛天使伝説ウェディングピーチ」、「ママレードボーイ」、TV番組「セサミストリート(日米共同制作版)」、美術展:「THEドラえもん展」(2002)、「GUNDAM 来るべき未来のために」(2005)、パートワークマガジン:「マクロスクロニクル」(2008)、「東宝特撮映画DVDコレクション」(2009)、「ジェリーアンダーソンSF特撮DVDコレクション」(2011)。2014年以降、慶應義塾大学メディアデザイン研究所研究員、融合研究所研究員として、アニメ産業を中心としたメディアコンテンツ分野の研究とプロジェクト運営を行う。主な論文、調査研究は、「アニメビジネスの特性分析と課題解決に向けた一提案」(2012)、「オタク文化の専門研究機関の発足とその効果〜世界オタク研究所の活動から」(2020)、「フィクションで描かれたICT社会の未来像」(総務省「平成27年版 情報通信白書」)。



・入場無料。事前申込制(チラシ表のQRコードからお申込み下さい。)  
定員 200名。

・都市科学部棟(キャンパスマップS-2)103教室の開場は、13:30頃を予定。

キャンパスマップ  
[https://www.ynu.ac.jp/access/map\\_campus.html](https://www.ynu.ac.jp/access/map_campus.html)

・最新情報は、Xでご確認ください。2.5DCP (@25d\_c\_project)

・スタッフが記録用に当日写真撮影を行います。参加者のみなさまは、撮影、録音、録画等はお控えください。

・ライブ、アーカイブ配信はございません。